広報紙
KOBEシニアクラブ
令和７年
9月10日
（隔月10日発行）
No.714

一般社団法人　神戸市老人クラブ連合会　〒650-0016　神戸市中央区橘通3-4-1　TEL(078)341-8507　FAX(078)341-8524　krcr@sunny.ocn.ne.jp　http://kobeshirouren.or.jp/

令和７年度 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

神戸で10年ぶり開催
高齢期をどう生きるか

令和７年６月26日（木）、10年ぶりに神戸市が開催地となり、近畿ブロック老人クラブリーダー研修会が開催されました。会場の神戸市産業振興センターには、近畿２府４県４政令市から約220名の参加があり、神戸市老連から44名が参加しました。

老人クラブの物故者への黙とうを捧げたあと、近畿老人クラブ連絡協議会中村美津子会長の開会挨拶に続き、来賓挨拶をいただき、本研修会が始まりました。

午前中は、全国老人クラブ連合会松島紀由常務理事による基調報告と、神戸市シルバーカレッジ前田潔学長による「高齢期をどう生きるか－良好な人間関係がｋｅｙ－」と題する講演がありました。

午後は、第１分科会「会長・役員の後継者育成と会員増強について」、第２分科会「一人暮らし高齢者や認知症高齢者を見守る地域の連携について」、第３分科会「高齢者の消費者被害防止の取り組みについて」、第４分科会「フレイル予防のためのユニークな文化・スポーツ活動について」に分かれて、事例発表と討議が行われました。

神戸市からは、第１分科会では神戸市老連松木伸年理事（垂水区老連会長）が助言者に、第２分科会では長田区老連日置一夫副会長が座長を務め、第３分科会では灘区老連濱田亀志政副会長が「兵庫県灘警察署との特殊詐欺から高齢者を守る活動」と題する発表を行いました。

分科会終了後は、いきいきクラブ体操を参加者全員で行い、閉会式にて神戸市老連近藤豊宣理事長が開催地としてのお礼のご挨拶、次いで次回開催地となる滋賀県老連会長より来年の日程を発表。最後に近老協野口一郎副会長の閉会の挨拶で、大会は終了しました。

神戸市から参加の皆さん

神戸市のスタッフの皆さん

式典の様子

いきいきクラブ体操

座長の日置さん（右）による進行

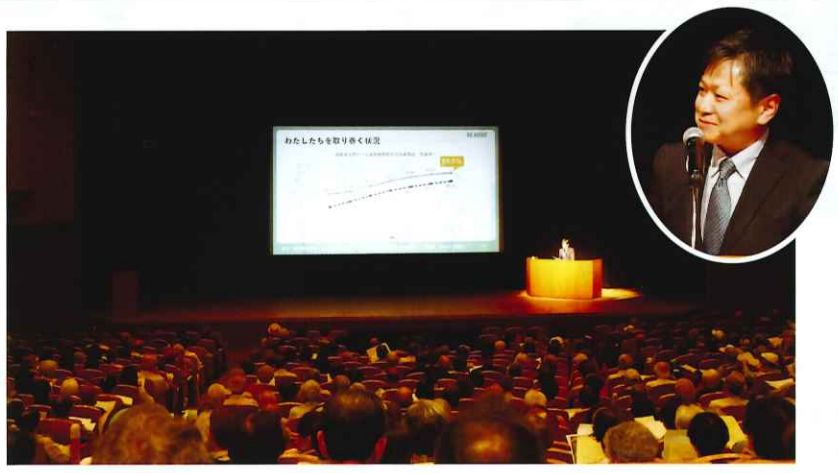
分科会の様子

令和７年度会長・リーダー研修会

自分らしい最期を考える

令和７年６月11日（水）神戸文化ホール・中ホールにて、496名が参加したＫＯＢＥシニアクラブ会長・リーダー研修会が行われました。

ＫＯＢＥシニアクラブ近藤豊宣理事長の挨拶に続いて、神戸市福祉局高齢福祉課中郷康一課長より『人生の終い方を考えよう』というテーマで講演が行われました。講演では、エンディングノートの活用や医療・介護・住まいの備え、家族との対話の大切さなど、終活に関する具体的な内容が紹介されました。



神戸市では、65歳以上の高齢者世帯のうち39・２％が一人暮らし、75歳以上の世帯では44・３％にのぼります。将来は75歳以上の半数以上が一人暮らしになる見通しも示され、自分らしい最期を考える大切さが強調されました。

参加者の皆さんは、自分自身や家族のこれからについて改めて考える時間となったようで、メモを取ったり頷いたりしながら熱心に聞き入っていました。

この後、休憩をはさみ映画「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」を鑑賞し、好評裏に研修会を終えました。

編集・制作　株式会社ニチコミ　〒650-0023 神戸市中央区栄町通1-2-7　大同生命神戸ビル7F　☎078-333-7707　https://www.nichicomi.com